



2017. 2. 1

西神戸 YMCA 幼稚園

2月ようちえんだより

厳しい寒さが感じられる今朝も園庭や保育室から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。3学期に入り、子どもたちは仲間と一緒に遊ぶことが更に楽しくなっているようで、寒い日でも満面の笑みで遊びに興じています。その姿を見ていると年長児は小学校に進学する準備として最後の幼稚園生活に思い残すことがないよう過ごし、年少・年中児は次の学年での幼稚園生活が充実したものになるように心と体をいっぱい動かして新たな準備をしているように思えます。

この時期は交友関係も広がり、お友だちと一緒に「遊び込む」ことができるようになっていきます。仲間と共に心と体をしっかり動かして「一緒に～したい」「あんなこともやってみたい」などの意欲を育み、意欲を伴う経験がさらに意欲を高めるという相乗効果を生んでいるようです。そうして培われる子どもたちの意欲が心の中に大きく根を張って行き、これからの成長の揺るぎない土台となっていくように思えます。

子どもたちの身長や体重、筋力や運動能力等の成長は目に見え、また何らかの方法で測ることができます。しかし、意欲等の心の成長は確かにあるものですが目に見えるものではありません。目に見える子どもたちの成長（身体の成長、運動能力等）は取り組みによって高めることができます。ただし、心の成長を無視したまましていると、いざ、自分の意志の働きによる活動が必要になった時に立ち止まり、活動自体を止めてしまうことが多々あるように思います。

本来、子どもたちには心の成長（工夫する力、考える力、創造する力、頑張る力、思いやる力等）によっていろいろなことを理解し、できるようになり、その上で心と体のバランスのとれた成長を促される必要があります。しかし私たち大人は時に、その過程を無視してどうしても目に見え、数字として結果が出る部分に意識が偏りがちです。目に見えるものだけに力を注ぎ、本当に見なければならぬ子どもの心や気持ちを疎かにしてしまっているのかも知れません。目に見えるものはチェック機能が働きやすいので気付くのも早く、ほとんど修正や調整が可能です。しかし目に見えない心の中は、しっかり意識していないとチェック機能が働きにくく、気づいたら取り返しのつかないことになる可能性もあります。だからこそ、見えないものにあえて目（心）を注がなければ、子どもたちのバランスのとれた心身の成長を促すことはできないと考えます。

YMCAの幼稚園では、これからも目に見えない子どもたちの成長をより大切に考え、子どもたちに関わる教諭、職員、リーダー、そして保護者の皆さまと共にその成長を見守っていくことができればと願っています。

年主題 「平和をともに」

2月主題 「なかまと心をあわせて」

聖句 “わたしたちは見えるものではなく見えないものに目を注ぎます。”

(コリント信徒への手紙Ⅱ 4章18節)